



さくらロードを力走！（桜小僧決定走）

# さかわ

Sakawa

62  
2015.5.1

# 議会だより

発行 高知県佐川町議会

3月定例会

contents

目次

平成27年度一般会計予算 68億6,830万円 2

議会が注目 保育料の軽減 6

国保税の軽減を（一般質問） 13

議会懇談会 今年も実施 21



可憐に咲く山しゃくやく（牧野公園）

# 平成27年度 一般会計予算

# 68億6,830万円

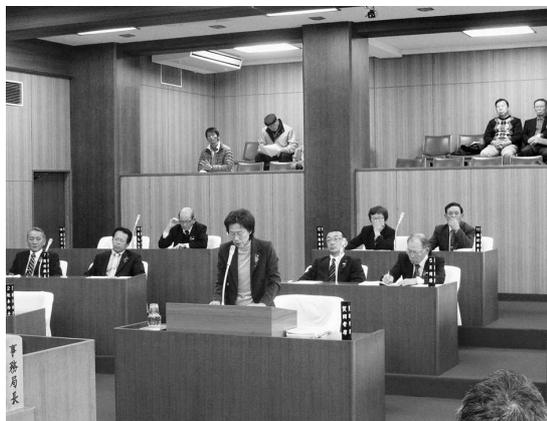
## みんなでつくる佐川町

### 賛成全員で 可決

3月定例会は、6日から12日までの会期で開かれました。

平成27年度一般会計予算をはじめ平成26年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案30件、町議会委員会条例改正1件、議員発議による意見書5件を審議、賛成全員及び賛成多数で全件可決しました。

一般質問には7人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。



平成27年度の一般会計予算は約68億7千万円、前年に比べて約8億8千万円の増となっており、前年度からの増加率は14・7%となっています。

主な取り組みは、移住促進（地域おこし協力隊の増員、住宅整備）、子育て支援（保育料の軽減、病後児保育等）、集落活動センター事業の拡充（斗賀野、加茂、黒岩）、防災対策等となっています。

**歳入**  
入るお金

平成27年度の自主財源（町民自身が税金等で負担するお金）は19億7千万円。主な収入となる町民税や固定資産税などの町税が昨年より21%減の約10億3千万円。

歳出に対して、足りない額を補うため、財政調整基金（貯金）等から7億2千万円を繰り入れています。

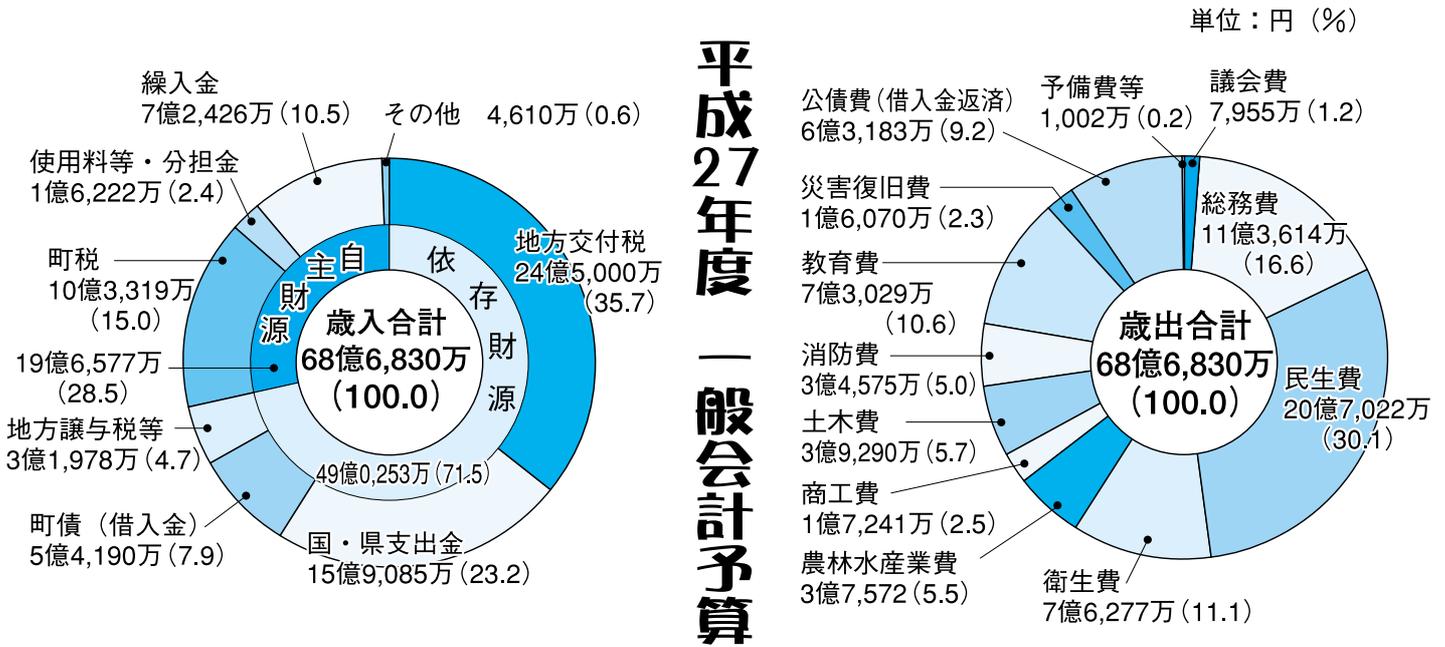
国や県からくるお金のうち主たる地方交付税は1.9%減の約24億5千万円となります。

**歳出**  
出るお金

人件費は昨年より4.9%増の約9億4千万円。投資的経費は11.5・4%増の13億8千万円となっています。

# 平成27年度予算

# 総額 124億7,942万円



## 平成27年度各会計の当初予算

（単位：円）

会計名	本年予算総額	前年度予算総額	比較増減	
一般会計	68億6,830万	59億9,020万	8億7,810万	
特別会計	国民健康保険	20億1,049万	18億9,880万	1億1,169万
	住宅新築資金等貸付事業	330万	281万	49万
	学校給食	5,663万	5,613万	50万
	農業集落排水事業	2,858万	2,741万	117万
	介護保険	18億2,665万	17億6,520万	6,145万
	後期高齢者医療	2億1,602万	2億1,702万	△100万
	水道事業	3億5,361万	3億5,310万	51万
	病院事業	19億5,920万	20億7,573万	△1億1,653万
総計	133億2,278万	123億8,640万	9億3,638万	
重複額	8億4,336万	8億1,565万	2,771万	
全会計純計	124億7,942万	115億7,075万	9億0,867万	

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

# 平成26年度3月 補正予算

(単位：円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		△1億4,858万	61億7,988万
特別会計	国民健康保険事業	△7,755万	18億3,577万
	住宅新築資金等貸付事業	0	3,876万
	学校給食事業	△50	5,563万
	農業集落排水事業	0	2,741万
	介護保険事業	△858万	17億6,360万
	後期高齢者医療事業	△46万	2,192万
	水道事業	△2,605万	3億2,705万
	病院事業	0	20億7,572万

補正予算は全員一致で承認されました。

※補正減額は主に事業の精査をした結果生じたものです。

## 補正予算質疑

**永田議員** プレミアム商品券、プレミアム率をもっと上げては。  
**渡辺産業建設課長** プレミアム率は、一般が15%、子育て世帯分については43・75%ということを考えています。

**堀見町長** それぞれの課とも協議をして、最終的に詰めたい。

**松浦議員** 地方創生の交付金を、観光協会の事務局長の分にも充てているが、新たな事業を立てる方がよいのではないか。  
**片岡チーム佐川推進課長** 事務局局長を全国公募した



中で、特別に採用したということ、今回の地方創生の分に取り入れた。  
**森議員** 地方創生先行型の予算及び、新ストープの補助金の内容は。  
**片岡チーム佐川推進課長** 地方創生PR委託料、移住相談員に係る経費と移住PR委託料、自伐型林業システム構築委託料と、作業道開設補助金、地域おこし協力隊事業、ものづくり推進事業、移住促進事業等で総額3262万6千円を計上している。

消費活性化のため、地域商品券を発行。子育て世帯には、生活支援のためより安価に販売。  
 定例会後、一般向けが1冊1万円で1万2千円の商品券(10冊限)。  
 子育て世帯向けは、1冊8千円で1万2千円分の商品券(5冊限)と決定された。

### プレミアム付商品券発行 3,452万円

※「地方創生」に対応するため、平成26年度補正予算に計上された主な事業

### ものづくり推進 1,300万円

雇用創出、起業支援のため、3Dプリンター等のデジタルツールを活用して個人によるものづくりを推進。



## 自伐型林業支援

### 2,294万円

研修の実施や山林作業路開設を支援。

自伐型林業とは・・・山を持続的に育てるため間伐や植栽をしていく。

# 3月定例会で決まりました

## 条例改正・制定

### 国民健康保険税23年ぶりの税率改正

国保会計は、数年来、支出の7割を占める医療給付費の増加と、後期高齢者医療や介護保険給付費の増加に伴う後期高齢者支援金・介護納付金の増が続き、繰越金や基金などで赤字を補填していたが、基金が残りわずかとなったため、平成27年度に税率を改正するもの。

### 介護保険条例の改正

平成27年度介護保険制度改正に伴い、新しい総合事業への対応や、介護保険料の改正等を行うもの。

### 佐川町放課後児童健全育成事業実施条例の改正

「子ども・子育て関連3法」の成立により、新年度から新たな「子ども・子育て支援制度」に基づく支援事業を行うため条例を改正するもの。

### 佐川町立保育所設置条例の制定

子ども・子育て支援法の施行に伴い、町立保育所の設置に関し、必要な事項を定めるもの。

### 特別職の給与及び報酬等の制定及び改正

新たに、集落支援員、地域自立支援協議会委員の報酬日額を定め、また、消防団員の処遇改善のため、報酬額及び費用弁償額の引き上げを行うものなど。

### 総合計画審議会条例の一部を改正

現在策定中の第5次佐川町総合計画について、平成27年度から審議会を開催するにあたり、審議会委員の人数などを改正するもの。



保育園は楽しいな (尾川中央保育園)

### 工事請負契約の変更契約の締結

佐川橋橋梁耐震補強工事  
(契約金額)

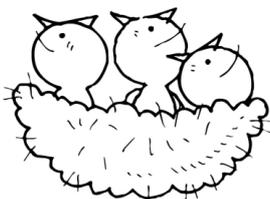
6564万6720円  
増額 896万5080円

(契約の相手方)

ショーボンド建設株式会社 高知営業所



耐震化された役場前の佐川橋



この事業に議会が

**注目**

3月定例会において、平成27年度当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。

第3子以降に係る保育料および同時入所している場合の第2子に係る保育料を無料とし、子育て世帯を支援。保育料軽減のために必要な費用。

**多子世帯に係る  
保育料の軽減**

**4,261万円**

病気の回復期の子どもについて、家庭での保育ができない場合、高北病院の専用施設で一時的に保育を行ない支援する。

**元気になあれ  
(病後児保育)**

**809万円**

園舎を新築。本年度は用地購入および建物の建築設計を実施。平成28年度建設予定。

**黒岩中央保育所  
新築事業**

**2,071万円**



元気に大きくなあれ！（海津見保育園）



明るくなったLED街灯

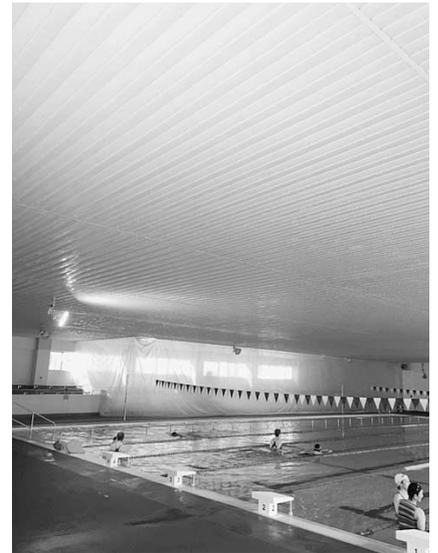
既存の防犯灯をLEDに変えることが可能に。LED化への補助1基2万5千円。防犯灯（けいこう灯）補助一基2万円。

**防犯灯  
LED化補助**

**300万円**

## 町民プール耐震化 3,739万円

震災時の落下事故等を  
予防するため町民プールの  
天井・屋根の改修工事を  
実施。



安心して健康づくり

## 町立小中学校 非構造部材等耐震化 2億910万円

小中学校（佐川小中、  
斗賀野小、尾川小中、黒  
岩小）の天井や照明機器  
等の落下防止のための耐  
震化工事を実施します。

非構造部材とは・・・  
天井材、内装材、  
窓ガラス、照明機器、  
書棚など。

## 消防自動車等更新 2,990万円

老朽化した佐川町消防  
団の消防自動車を計画的  
に更新し、防災体制の充  
実を図る。  
本年度は搬送車3台と  
消防バイク1台を整備。



地域の安全を守る消防車

## 地域おこし協力隊 5,383万円

本年度は14名体制で  
自伐型林業の活動やスポ  
ーツ、観光を通じ町おこ  
しの活動を支援。  
この事業は100%国、  
県の補助で実施。

## 移住促進住宅整備 1億3,020万円

佐川町への移住者受入  
体制を整備するために、  
民間企業から用地・家屋  
を購入し、移住促進住宅  
を整備。



今年新たに入った協力隊メンバー



改修予定の旧竹村呉服店

## 歴史まちづくり 1億1,867万円

上町地区の歴史的まち  
なみを維持・向上するた  
め、牧野公園の整備や旧  
竹村呉服店の改修工事を  
実施。

ここを

# 聞いてみた

# 議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

## 一般会計

ファイティングドックス

邑田議員 ファイティングドックスの補助金は。

片岡チーム佐川推進課長 110万7千円だ。

内容は、横断幕と、インターネットボード、のぼり旗に係る経費を計上している。

## 行政運営

松浦議員 事業の減額、廃止等の判断には合意形成の場を持って判断すべきだと思いませんか。

堀見町長 行政運営については、見直しをしなければならない。今は丁寧に進めていきたい。

## 図書館との複合施設

松浦議員 青山文庫の耐震診断の委託料が計上されているが、図書館との複合施設についての検討は。

堀見町長 耐震診断の結果

果を見極め、さらに図書館の検討委員会での検討を踏まえ町の方針を決定する。

## 保育料

松浦議員 保育料の軽減の情報の提供をどうするか。

岡崎健康福祉課長 広報とホームページを通じての周知と、保育所、幼稚園への周知等を行ってほしい。

## 集落活動センター

永田議員 集落活動センター事業については、加茂と斗賀野は新築ということだが、黒岩でも新築も視野に入れて協議を願いたい。

片岡チーム佐川推進課長 地域の方々とも再度協議をし、新築、改築を含めて、検討をしていきたい。



耐震診断される青山文庫



耐震化支援事業で安心生活

## 病後児保育

中村議員 病後児保育を実施するにおいて、サポートする組織、病院のかわり、場所について聞く。

岡崎健康福祉課長 組織については、課内の人材を中心にサポートできる人の名簿作りなどを考えていきたい。病院の医師住宅を改造しそこで実施する。緊急時には医師が関わり、通常は保健師、保育士の二人体制で10月をめどに実施予定。

## 木造住宅耐震化

森議員 木造住宅耐震化支援事業があるが、その利用が少ない。もっと啓発が必要ではないか。

渡辺産業建設課長 町広報紙、自治会総会などでの啓発、さらには自主防災組織、建築士事務所等と連携し進めたい。

## 防犯灯LED化

坂本議員 通学路防犯灯設置工事と防犯灯設置工事(LED化)について聞く。

横山総務課長 通学路防犯灯設置工事は、要望が上がっていた箇所を検討する。防犯灯設置工事補助金は、今回は既存の防犯灯をLEDにかえられるようになった。

## 移住促進事業

永田議員 民間会社の社宅を購入して、それを耐震改修して移住促進事業に充てる事業があるが、議会と執行部が協議をできるよう予算執行については、少しの時間配慮されたい。

堀見町長 予算の執行については、議会の皆さんの同意を得ながら進めていきたい。

## 条例改正

### 時間外保育料

坂本議員 保育所設置条例で、時間外保育料と保育料の設定に、矛盾が生じないよう検討を。

岡崎健康福祉課長 短時間保育に認定された子ども、時間外保育についても、利用料金を定めている。佐川町では開所時間の、朝の保育については利用1回につき1000円。夕方の時間外保育については2000円である。常態の利用が必要なら、標準時間の認定をする。これは佐川町内の園長会の中でも協議をした上で、条例案として出した。

### 放課後児童対策事業

坂本議員 放課後児童対策事業の条例を改正するが、これは対象児を全員に広め、また夏休みだけでなく冬休みや春休みにおいても開所するという意味か。



すくすく育て！子どもたち！



川井教育長 冬休みも、年末年始の休み以外は開催する。また春休みも、3月末まで拡大する。

中村議員 現行の定員50名、そして1年生から3年生までとするところが削除されている。理由を聞く。

吉野教育次長 定員については、規則で定めるほうが一般的という指摘があった。今回、条例から削除して、新たに規則で定めるようにした。

川井教育長 新制度において、小学生全てが対象になるということになった。それを受けての対象年齢の拡大だ。

## 指定管理の期間

下川議員 和楽の指定管理の期間が5年間となっているが、これはどのような理由で5年間としたか。

岡崎健康福祉課長 前回と同様今回も引き続き同じ期間ということ考えている。

## 工事請負契約

### 佐川橋

徳弘議員 佐川橋の耐震工事は、大きな増額となっている。当初に把握できなかったか。渡辺産業建設課長 保存期間が過ぎ設計図が役場になく、把握できなかった。



購入予定の民間社宅

# 各議員の意思表明

賛否表(平成27年3月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	今橋寿子	徳弘初男	藤原健祐
平成26年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度学校給食特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度国民健康保険特別会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度病院事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
総合計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町立保育所設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
放課後児童対策事業実施条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
集落活動センターたいこ岩の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
健康センター和楽の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
ふれあいの里尾川の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町民プール及び町民テニスコートの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
字の区域及び名称の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
工事請負契約の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
佐川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「最低賃金の大幅引き上げ」「適正な最低賃金制度」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「公契約条例の制定」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
TPP交渉に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
政府による米価対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
郵便と金融のユニバーサル・サービスを提供する義務を全うできる株式処分のあり方の検討を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

# 意見書

## 国にももの申す

総理大臣をはじめ、  
関係機関に意見書を提出

### 「最低賃金の大幅引き上げ」「適正な最低賃金制度」を求める意見書

政府が掲げる「地方創生」を果たすためには、地方経済の底上げが必要不可欠であり、都市部と地方、正規と非正規の格差是正と最低賃金の底上げによって、地方で働き暮らし続けられる制度作りが重要である。

政府には、最低賃金を大幅に引き上げるための施策を早急に講じること。地域間格差を是正するため、適正な最低賃金制度を制定することを強く求める。

### 「公契約条例の制定」を求める意見書

建設に関わる労働者不足に歯止めがかからず、若者の入職状況は激減している。

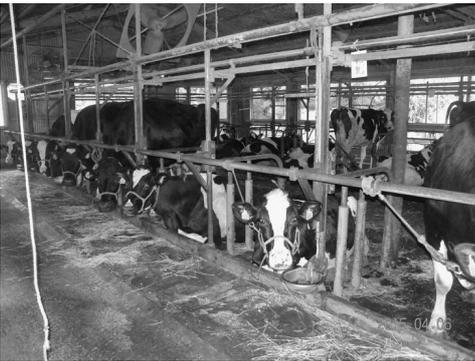
高知県でも後継者不足は大変深刻である。地域企業の経営とそこで働く労働者の生活を守り、地域へ貢献できる企業を育てるための施策実施のために、国と県は、労働者の適正な賃金確保と地域企業の活性化と後継者育成の観点から、公契約条例の制定に向けた施策を講じること。

### TPP交渉に関する意見書

昨年末に合意をめざしたTPP交渉は、日米間はもとより、交渉参加国間の深刻な利害対立から、合意を断念せざるを得なかった。

年明けから日米事務レベル協議を再開し、依然として緊迫した状況にある。

政府は、TPP交渉に関する国会決議を順守するとともに、守れない場合は、交渉から撤退することを強く求める。



守れ日本の農業

### 政府による米価対策を求める意見書

2014年産米価格は、異常な価格で推移している。

今回の米価暴落は、地域農業の維持や農村集落にも深刻な影響をもたらしかねない。また、日本の食料自給率の一層の低下を招くことになることは明らかである。

政府が過剰米の市場隔離を官民あげて実施し、米穀の需給調整に直ちに乗り出し、需給と価格の安定に責任をもつ米政策を確立するとともに、米直接支払交付金の半減措置と米価変動補てん交付金の廃止を撤回し、農家の経営安定対策を図ることを強く求める。

### 郵便と金融のユニバーサル・サービスを提供できる株式処分のあり方の検討を求める意見書

政府には、日本郵政株式会社及び金融2社の株式処分において、しっかりとした情報公開、説明責任、中期あるいは長期的な経営の見通しを示していくこと。

日本郵政株式会社及び金融2社の株式処分にお



近くにあると便利な郵便局

いては、外国資本の支配権確立に対しての防止策として外資規制を講じること。郵便と金融のユニバーサル・サービスを守る立場から、金融2社の株式処分については、凍結あるいは制限することを強く求める。

7人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

# インターネットリテラシー・情報マナー 環境整備が必要

教育長 PTAも含めた取り組み行う

インターネットの普及による社会の情報化は、子供たちの生活や心身の問題にいい面、悪い面、大きな影響を及ぼしている。特にスマートフォンも広く普及している。

インターネットリテラシー・情報マナーの層の向上を図り、青少年が安心・安全にインターネットを利用できる環境整備が必要だ。

川井教育長 学校においては、情報通信ネットワークの活用能力や情報モラルの育成に努めている。今後は、PTAも含めた取り組みを、学校と協議して行っていきたい。

また、インターネット被害を防止するため、青少年育成佐川町民会議と連携し、啓発用チラシの作製・配布に努めたい。

インターネットリテラシーとは・・・  
インターネットを正しく利用することができる能力。

## 公共施設の非構造部材の耐震化

# 早急に検討を

総務課長 スケジュールも含め検討したい

公共施設の管理の一つとしての取り組みが、非構造部材の耐震化だ。防災拠点を守り、住民の命を守り、避難所を確保するという観点からも重要な取り組みだ。庁舎も含め、桜座や、健康福祉センターかわせみなど、多くの人が集まる場所の非構造部材の耐震化は、早急に検討する必要がある。

横山総務課長 公共施設

は町民の方が多く来られ、その命を守るためにも、非構造部材を含めた耐震化について、スケジュールを含めた検討を行っていきたい。



急がれる公共施設の耐震化



地元商店街の活性化策は

## プレミアム商品券 平成28年度以降の実施は

町長 現時点では考えていない

今回の補正予算に、地域の消費を喚起するプレミアム商品券が計上されている。平成26年度についても、商工会から、要望があったが、町長の判断で実施されていない。

堀見町長 プレミアム商品券について、全く効果がないとは思わない。しかし本町の地域特性から行くと、地元で商店街をやられている皆さんへの効果が少し、薄いのではないかと考えている。

こういった取り組みは、継続して行うことで、消費の喚起につながると思うが、平成28年度以降の実施はどうなのか。

平成28年度以降の町単独の予算での実施は、現時点では考えていない。



坂本 玲子 議員



# 障害者福祉計画の充実を!

健康福祉課長 自立支援協議会で検討

障害者やその家族は、町内に障害者の施設が少ないために苦慮している。佐川町でのグループホームや短期入所施設の増設の計画はあるか。

また障害児の長期休暇中の居場所づくりはどうするか。具体的な計画を望む。

また障害者優先調達推進法が施行されたが、町としてどうしていくのか。

岡崎健康福祉課長 障害者施設が不足しているのは明らかだ。具体的なことは、自立支援協議会のほうで話をしていきたい。

障害者優先調達法に基づき、役場全体で障害者施設から調達できる体制、情報提供をしていきたい。

川井教育長 長期休暇中の対応については、幅広く対応できるように取り組む。

来年度から学校給食用の食材として、障害者の事業所から調達する方向で、協議を行っている。

# 一般財源投入で国保税の軽減を

町民課長 一般財源からの繰り入れ検討



支えあう社会づくりを (こじゃんとはたらこ家)

国保税の負担は限界に達している。国保財政悪化の原因は何か。今回国保税値上げの案が出されている。また平成28年度もさらなる改正の可能性がある。一般財源からの繰り入れで、保険税の値上げの中止または軽減をしようか。

麻田町民課長 国保財政悪化は、加入者の高齢化のための保険給付費増加や後期高齢者支援金の増加が原因と考える。今後は一般会計からの繰り入れも検討せざるを得ない。

# 子育て支援策を聞く

健康福祉課長

保育料軽減を実施

保育料軽減策が出されているが、その内容について聞く。

また、ファミリーサポートセンターや、病後児保育はどういう形で実施するのか。住民や関連する団体にも意見を聞き、困っている人みんなが使える形にするのが適当だと思おうか。

岡崎健康福祉課長 平成27年度、保育料の軽減策

については、第3子は年長まで無料、同時入所の第2子も無料となる。

ファミリーサポートセンターについては子育て支援の事業であるが、地域の支え合いの事業となるよう、いろんな方の意見を聞いて連携していきたい。病後児保育は、回復期の子供の受け入れをしていく。



子どもの未来は佐川の未来 (海津見保育園)



森 正彦 議員

# 平成27年度予算 特徴的な事業は

総務課長 子育て支援充実

平成27年度予算編成は一步踏み出す勇氣をもつて予算編成するということであつた。前年に比べ8億7千万円増の積極予算となっている。意図するものは何か、また新しい事業や特徴的な事業は何か。

横山総務課長 子供たちや町民の命を守るための施策を実施する。子育て支援に重点をおき、保育料の軽減や、病後児保育等を実施する。また、地域支援や自伐型林業を強力に推し進める。町づくりの拠点となる集落活動センター、あつたかふれあいセンターへの取り組み、地域おこし協力隊事業、土地建物を購入する移住促進事業が特徴的な事業として挙げられる。



守りたい 佐川の米作り！

## 農業振興 米価暴落への対処は

産業建設課長 飼料用米と佐川米のブランド化

米の価格が大暴落した。この単価では稲作経営の継続は不可能である。現在の農地は狭隘で畑作転換も容易でなく結果は耕作放棄地となりか

ねない。そうなると思観や環境などさまざまな問題も生じる。どう対処するのか。  
渡辺産業建設課長 これからは酪農家と提携した飼料用米の栽培普及が必要と思う。また消費者ニーズにかなう産地の育成、ふるさと納税の返礼品としての佐川米の定着で消費拡大や所得の拡大につなげていきたい。

農業振興については、現在5カ年計画が詰めの段階にはいつている。中心は現在の基本作物のブランド化と6次産業の育成が中心になる。

## 健康づくり 受診運動から

健康福祉課長 平成27年度から取り組む

幸せの一番の基礎は健康である。平成27年度は国民健康保険料の値上げ案が出ている。今でも重い負担感があり抑制するべきだ。それには病気を予防し健康で過ごすことだ。しかし健康推進活動が見えてこない。特定検診の受診率も県内市町村で低い方から3番目だ。生活習慣病の予防のために特定検診の受診運動から始めてみてはどうか。



健康づくりは検診から

岡崎健康福祉課長 健康づくり推進委員会でも目標を設定して受診率をどのようにして上げるかと話し合っている。例えば受診勧奨にしても標準的な方法でなく個別にアプローチしていくとか、各種団体に直接、声かけして、運動に参加してもらうよう平成27年度から取り組んでいきたい。



下川 芳樹 議員

増え続ける介護保険料を抑制するには、健康寿命を延ばしサービスの利用期間を短くする努力が重要だ。町と町民が介護予防や健康づくりを進めるため、町民プールの活

## 介護保険料の抑制、プール等で介護予防を

町長 町民プール改修、前向きに中身から

用や地域組織との連携を行うべきだ

岡崎健康福祉課長 健康づくりや介護予防は必要。町民プールの活用やさくらスポーツクラブ等との連携など新しい視点で具体的な施策を取っていききたい。

堀見町長 町民プールの改修は前向きに取り組む。しっかりと中身を作り上げソフトの部分も合わせて、ハード整備をやっていく。

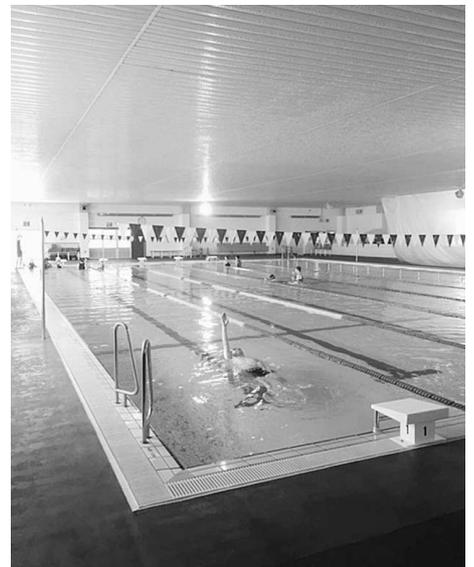
## 地方創生 県との連携を

町長 県と連携し活性化につなげたい

知事は地方版総合戦略への対応で、県産業振興計画と市町村版戦略との一体化を強調し連携支援を強めるとした。同じ課題を抱える県との連携は、メリットが大きいと思うがどうか。

堀見町長 県と連携し、町の取り組み自伐型林業の推進と、ものづくりを、集落の活性化につなげたい。

集落活動センターを拠点に林地の集約を行い、知事も理想とする集落宮林を地区と一緒にやっていきたい。



介護予防にプールの活用を



県との連携で拠点づくり

## 総合計画、職員の成長機会として

チーム佐川推進課長 勉強し地域と一緒にまちづくり

みんなで作る総合計画策定の方針に、役場職員の成長の機会とすることある。地域活動に積極的に参加している職員がいる。一方、住民からの要望等への回答がない、返事が遅いとの声も聞く。住民とのつながりの中で学び成長することが大切だと思いがどうか。

片岡チーム佐川推進課長 まちづくりを進める上で、地域と行政が一緒になって実行していくことが一番大切だ。地域づくり等に職員が参加することが重要で、職員研修等を通じて勉強していきたい。今まで以上に役場職員が地域と一緒にまちづくりを進めていくよう要請していく。

■その他の質問  
佐川町における虐待対応について



黒岩の河川改修 圃場整備とともに！

中村 卓司 議員



## 黒岩地区 河川改修 今後の進め方は

### 産業建設課長 圃場整備も含め検討

黒岩地区の柳瀬川河川改修工事の現在の進捗状況と今後の進め方について聞く。

圃場整備も並行してやっっていくのがいと思うがどうか。

渡辺産業建設課長 平成26年度に工事区間6.1キロの概略設計を4千万円の事業費で作成している。平成27年度の夏ごろより作成した概略設計を地元の皆さんに順次説明をする。秋ごろには用地測量を行う計画だ。平成28年度には詳細設計、用地測量を行い、用地買収に入る。平成29年度からは下流域より順次、改修工事に入る計画だ。

また、圃場整備も大変重要だと考えている。今後は治水協議会と話し合いながら越知町とも協議し、進めていく。



町で実施されているサポーター講座

## 認知症対策 どうする

### 健康福祉課長 支援チームの設置を検討

世界一長寿国である日本、とりわけ地方の佐川町にとって、今後認知症は大きな問題となる。

さらに平成29年度には介護保険法が改正されることにより、より厳しい状況が予測される。どのような対策を考えているのか。

岡崎健康福祉課長 平成27年度から町内の医療機関、保健師、看護師などで検討会を立ち上げ、認知症初期集中支援チームの設置を検討する。早期発見で初期対応ができるよう努めたい。

地域全体で認知症の対応と見守りをするため、サポーターやキャラバンメイトを増やしていく。



今橋 寿子 議員

町は第5次佐川町総合計画策定に向け、町民アンケート調査を実施。また地区懇談会、しあわせ会議を行っている。これまでの取り組みの総括を聞く。

## 総合計画策定 これまでの総括は

チーム佐川推進課長 参画の機運高まる

片岡チーム佐川推進課長アンケート調査では458名の回答があった。地区懇談は若者の参加が少なかった。しあわせ会議には87名の職員の参加とともに若い世代の参加者も多くあった。子育て世代の意見を反映することは重要だと考えられる。参画の機運は高まってきている。今後、さらに若い人にも参加を呼びかけ、10年後を見据えた総合計画を作り上げたい。



地域の皆で話しあい

## ひと創生と学校教育 取り組みは

教育長 ふるさと教育を推進する

地方創生の中の、ひと創生と学校教育について具体的な取り組みはどうか。

また、牧野博士に学ぶ町おこしで、子供たちのかかわりはどうか。  
川井教育長 児童は佐川で育ち、佐川で楽しみ、佐川を知り、愛する取り組みが重要である。佐川ならではの財産を活用したふるさと教育を、より一層推進していく。  
牧野博士のゆかりの植栽については、佐川中学校のしあわせクラブや黒岩中学校の園芸部の生徒がかかわっている。今後、各学校と協議して広げていきたい。

## 移住促進 バランスが大切

町長 プラスになるよう進める

増田レポートの波紋による移住促進は、ただ人口を増やすことだけに重点を置く、弊害が懸念される。町民とともに前進できるようバランスが大切だ。町長はどう考えるか。  
堀見町長 移住促進をやり過ぎると弊害もあるこの考えもある。しかし外

の視点を入れながら住民力を伸ばしていきたい。昨年度から合意形成の町づくりのため、ファシリテーターの養成研修等に取り組んでいる。住民の良さ、強み、宝を引き出しながら佐川町のまちづくりにはプラスになるようバランスを持ち進めて行く。



名教館での論語塾



永田 耕朗 議員

# 投票所の再設置を

選挙管理委員会事務局長  
選挙管理委員会で議論中

平成18年に20力所から15力所に投票所が減った。その時点で投票率が9%落ちた。投票所が遠くなったことで高齢者が投票に行きづらくなったのではないか。

昨年12月の衆議院議員選挙では、佐川町で4千数百人の方が棄権をしている。早期に見直しをするべきでないか。  
横山選挙管理委員会事務局長 平成26年度未までに結論を出す回答していたが、さまざまな理由で中断している。佐川町全体の高齢化率、投票率の推移、集落から投票所までの距離等分析し、選挙で議論しているところである。

# 社協の補助金 減額理由は

町長 別会計の経費を按分

社協の業務は、本来行政がやるべき仕事をこなしている。福祉サービスの最前線であると考えられる。  
公益性の高い事業であり活動の基盤を補助金で支えることは、何ら問題はないと考える。平成27年度予算で社協の人件費補助金を削減している。減額理由を問う。

堀見町長 事務局長の仕事が、一般会計分、特別会計分、両方の事業にまがっていた。3割は特別会計分の仕事をしている。その人件費の経費按分の金額が2百万円、一般会計の繰越金3百数十万のうちから2百万円、合わせて4百万円の補助金の削減となった。今回の件で、社協のモチベーションが下がるということであれば、私自身反省をしなければならぬ。



廃止された庄田投票所

# 医師住宅への 入居は問題

町長 道義的問題はない

町長は高北病院の医師住宅へ入居していると聞か、もともと医師のための住宅であり、使用目的が違つ。公共物を町長が私用で使うことに疑問を感じる。医師住宅が不要であれば、公募によって一般の方々に開放すべきでないか。開設者である町長が医師住宅へ入居することは、道義的に問題があると考えらるがどうか。

堀見町長 防災の観点から災害本部が置かれる役場の近くに住まなければいけないと考える。高北病院の医師住宅が空いていたので入居した。道義的には問題ないと思っている。



高北病院の医師住宅

# 行政視察研修報告

佐川町議会は、3月24日・25日に、図書館・地域公共交通・地域づくりについて先進的な取り組みをしている鳥取県北栄町と日南町を議員全員で視察しました。

これは図書館の建設について住民から4、237人の署名を添えた請願がありました。また現在、図書館建設検討委員会で建設について検討しています。

対策についても地域公共交通対策準備会が設置され、佐川町の公共交通のあり方について協議されています。議会でも調査研究の必要があるため、今回の視察となりました。

北栄町は鳥取県の西部に位置し、砂地を利用したスイカやナガイモの産地として有名であり、またマンガ名探偵コナンの作者青山剛章の出身地であり教育に熱心な町でもあります。

井も高く明くる、研究室や視聴覚室等が整備されています。



北栄町の図書館

	北栄町	佐川町
人口	約 15,000人	約 13,800人
図書館の床面積	1,798㎡	434㎡
蔵書数	109,212冊	50,437冊
利用者数	17,529人	15,271人
貸出冊数	67,334冊	27,324冊
年間予算	3,850万円	616万円
図書購入費	475万円	100万円

図書館は、平成5年に建設されました。建物は鉄筋一部2階建てで、天井も高く明くる、研究室や視聴覚室等が整備されています。

館内では、話題の図書や時期に合わせた展示がされており、赤ちゃん、こども、大人と読書のスペースも分離されています。

図書館の活動は、住民に読書の大切さや図書館の楽しさを発信する「図書館祭り」や、「郷土史入門講座」、赤ちゃんから小学生を対象とした

「おはなし会」、「夏休み科学教室」の開催等様々な活動がなされています。

また、日南町でも人口5,200人程度の町でありながら、立派な図書館が整備され運営されていました。

佐川町議会は今後図書館建設について、青山文庫の整備と合わせて、十分な検討をしていかなければならないと感じました。

日南町は鳥取県の南西部、山間の町で、40年間で人口は約半分に減少

し、全域が過疎の町です。一般会計予算は75億円と積極的予算が組まれています。

現在、町の中心に様々な機能を集約し、住民の利便性の向上を図っています。中心への交通手段として、地域公共交通が整備され路面バス、デマンドバス、過疎地有償運送等が実施されています。

住民はこれらの交通手段で通学、買い物、通院ほか、役場、農協、郵便局へ出向く際にも利用できる内容となっています。しかし利用者が年々減少

するなど、課題もありません。

また、地域活性化のための新たな自治組織づくりも進んでいます。7つの地区にまちづくり協議会が設置され、それぞれ特色ある活動を実施しています。

佐川町にも、交通弱者は数多くいます。今後、研究をしていかなければならない課題です。

まちづくりに関しても旧町村単位での取り組みが進んでいます。今後の大きな参考になりました。



日南町での研修



配備された消防バイク

## 消火活動やその他の災害用バイクの導入

(平成24年6月定例会)

地震や火災などの災害時に優れた機動力を発揮し、初期消火活動や情報収集に大きな効果が期待される消防バイクを導入すべきだ。(松浦議員)

## 総務課長 答

### 平成27年3月に配備

平成27年3月に1台導入され、佐川町消防団に配備された。

どう  
なった

### 検討する

災害時においては、バイクによる消火活動や情報収集は、有効な手段であるとする。消防団幹部との意見交換も行き、検討する。

## 全国町村議会連合会

自治功労者表彰受賞

佐川町議会議長

藤原 健祐氏



藤原議長は、平成27年2月6日に東京で開催された全国町村議会議長会第66回定期総会において、議会議長として7年以上在職され地方自治の発展に功績があったとして、「自治功労者表彰」を受賞されました。  
その伝達式が、平成27年2月25日に高知県町村議会議長会定期総会の席上で行われました。

## 平成27年度予算

(単位：円)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	10億4,469万	△2億1,802万
特別養護老人ホーム	12億3,673万	△1,060万
養護老人ホーム	1億1,120万	△435万
障害者支援施設	1億7,518万	△480万
ふるさと市町村圏	1,627万	△1,643万

高吾北

広域

町村事務組合

議会

3月3日

### 《組合長 諸般報告》

#### 衛生センター

各設備の老朽化が進行しているため、平成27年6月末までの工期で改修工事を行う。

#### 清掃センター

1月末のごみ総量は、7770トン、佐川町が全体の約53%の4105トンとなっている。

#### 処理センター

焼却処理ピットは、平成23年9月から第3ピットに投入しており、残余年数は、約2年と見込んでいる。

#### 消防署

平成26年中の出動状況は、救急出動が1582件で、このうち65歳以上の高齢者搬送の割合は76%を占めている。消防・救急無線のデジタル化は、工事が完了し、平成27年1月からデジタル無線に移行し、業務を開始している。

—住民の信頼に応えられる議会へ—

# 議会懇談会を開催します



佐川町議会では今年も議会懇談会を開催します。  
 今回で3回目を迎えました。さらに、住民に信頼される議会に向けて、皆さんの生の声をお聞きし、その思いを真摯に受け止め、住みよい町づくりに役立てたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

日 時	地区名	場 所	時 間
5月 1日	黒岩地区	黒岩多目的集会所	19時から
5月 8日	尾川地区	尾川地区住民センター	19時から
5月15日	加茂地区	加茂地区住民センター	19時から
5月22日	斗賀野地区	J A コスモス斗賀野支所	19時から
5月29日	佐川地区	役場2階大会議室	19時から

あなたが選んだ議員の  
 仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は6月5日(金)午前9時  
 開会予定です。傍聴においでください。

## 編集後記

20年ほど前、ふるさと創生事業があった。地方で1億円を、知恵を出して使った。今回の地方創生、これも自治体が知恵をしぼり、一生懸命努力したところは報われるという。良いアイデアを出したところは勝ち組、アイデアが受け入れられなければ負け組では、国の政策としては良いのだろうか。

しかし、自治体が住民とともに地域の将来や施策を考えると良いことは良いことだ。町長はこの地方創生をチャンスと捉えているという。

今議会でも地方創生について何人かの議員が質問している。住民の関心も高い。創生とは新しくつくりだすこと。「住民が楽しく生き生きと暮らせる町」をつくるために知恵を出しあい未来を語ろう。

森 正彦

## 議会広報編集委員会

委員長	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

# 地域で がんばる

わがまち佐川は、地域のために活動している組織やグループがあります。その皆さんにスポットを当てて紹介します。今回は、「加茂よさこいクラブ」会長の坂本貞雄さんと前会長の岡田良一さんにお話を伺いました。



岡田さんと坂本さん

## 加茂よさこいクラブ

— 加茂駅はいつもきれいですね。

私たちは地域社会への奉仕の一環として加茂駅をきれいにしていきます。地域の皆さんに喜んでもらえることがうれしいんです。

— 具体的にはどんなことをしていますか。

昭和60年代より老人クラブとふれあいサロンのメンバーで、駅のトイレ掃除や周辺にコスモスを植栽する活動から始まりました。前年度からは加茂よさこいクラブに改名して植栽や剪定、草刈りなどの清掃活動を月1回実施しています。



加茂駅が花茂駅に



加茂よさこいクラブの皆さん

— ここ数年でよくなっただことは何ですか。

植栽したハナモモが育ち、3月には駅全体が美しく彩られる景色となりました。

— 今後の抱負は何ですか。

クラブへの加入が少なくなっています。30年近く続いている加茂駅の清掃活動に多くの皆さんに参加してもらいたいです。加茂駅が花茂駅となるようこれからも頑張っていきたいと思えます。

どうもありがとうございます。

佐川の玄関口、加茂駅が沢山の花に囲まれ、地域住民やJR利用者から愛される、きれいで美しい景観が続きますよう期待しています。

あなたの周りに、佐川のまちの元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介下さい。

